

## ◆稲刈り・掛け干し体験・交流会への参加◆



九州農政局ホームページに掲載中です ⇒

棚田地域の振興に貢献するため、九州農政局農村振興部の新規採用者を含む若手職員を中心とした活動状況を写真により紹介します。

活動の概要は、熊本県球磨郡球磨村にある「松谷棚田」と廃校となった小学校校舎を利用した農泊施設である「さんがうら」で、秋の棚田の魅力を発信するため、稲刈り掛け干し体験に参加し、秋晴れの中、参加者のみなさんが、6月の田植えから無事に育った稲穂を大切に刈り取り、竹竿の干す作業に取り組みました。【令和6年10月13日(日曜)】



※九州農政局地域整備課の松永課長による挨拶の様子



作業開始前に参加者で記念写真を撮りました。



**松谷棚田の掛け干し状況**



**稲穂の状況**



**初めて経験する職員も多く、まずは地元農家の方から稲刈りの手法を伝授してもらいます。(鎌の使い方、稲穂の掴み方、束ね方など)**



**さて、稲刈り作業の開始です！**



**6月に田植えをした苗がこんなに立派に育ちました。**



**稲刈り体験に参加した地元の小学生や、棚田オーナーのみなさんも汗をかきながら作業に取り組んでいました。**



作業に没頭する中、カメラを向けると楽勝の笑顔を見せる若手職員たち  
(ほんとうは、けっこうきついんじゃないの?)





ある程度、稲穂を刈り取った後は、掛け干し作業に移ります。  
【掛け干しとは？: 刈り取った稲を干すことで、米の品質(割れ粒を防ぎ、うまみを出す)を向上させるためのものであり、2週間程度の掛け干し後に、お米にします。】



カメラを向けると必ず笑顔を見せる若手職員たち。  
(ポーズも決まってますね！)



**若手職員が刈り取るエリアはひとまず完了。**



**午前中で稲刈り掛け干し作業は無事終了。その後、体育館で昼食タイム。お弁当は、地元さんがうらのお母さんたちが作ってくれたお弁当で舌鼓を打ちました。**

**(こんなに具だくさんのボリューム！)**



**昼食後は、地元小学生を中心に、棚田についてパネルで紹介を行い、棚田についてたくさん学んでもらいました。(棚田カードに興味深々の様子)  
これも農政局の大事なお仕事です。**



最後は、今回の稲刈りイベントに参加した地元小学生や棚田オーナー、そして村長も一緒に、スプーンでピンポン玉を運ぶゲーム大会で交流を行い大いに盛り上がりました。初めは人見知りの表情だった皆さんでしたが、ゲームが始まると熱気や笑いに包まれ笑顔が溢れていました。外部の人たちとの交流促進に、この試みは良かったと思います。



**たった半日程度のイベントでしたが、天気にも恵まれ、若手職員が主体となって取り組んだ作業も全員怪我無く無事に終え、また地元のみなさんと、笑顔で交流ができたことで少しは球磨村の棚田振興に寄与できたのかなと思いました。また、今後もこういった活動は地道に取り組んでいく必要性を感じたところです。みなさん、お疲れ様でした！**